

番 号	16請願第12号 (厚生付託)
受理年月日	平成16年6月3日
件 名	治安・防犯対策の支援・向上を求めることについて
提 出 者	三鷹青年会議所 理事長 中山 和義
紹介議員	田中 順子
要 旨	
<p>〔請願趣旨〕</p> <p>三鷹市に限らず、近年の犯罪件数の増加、凶悪化には目を覆うものがあります。三鷹市でも記憶に新しいところで、強盗殺人事件、けん銃発砲事件がありました。2件とも結果的には、連続した被害はありませんでしたが、刃物やけん銃といった凶器を持った人物が、一時多くの一般市民に紛れていたことは事実です。</p> <p>犯罪を防ぐのは、自分自身というのが防犯の基本ですが、犯罪者の多くは入念な準備や凶悪な手段で個人をねらいます。犯罪者が一番嫌がるのは、地域の連帯であることを考えれば、個人での防犯の限界を補う最も効果的な方法は、地域防犯です。</p> <p>近隣自治体では、携帯メールに犯罪情報を配信しているケースが見られます。</p> <p>親や子どもたちなど、市民が身近で起きた犯罪を知ることで、市民一人ひとりの注意を喚起させることで防犯意識が高まり、二次被害の抑止、さらには犯人の目撃情報増加によるスピード逮捕につながる大変よい仕組みだと思えます。凶悪犯罪だけでなく、最近多発しているひったくり、通り魔、痴漢等の事件でも同じことが言えると思えます。</p> <p>携帯電話は、爆発的に普及が進み、学生から中高年層に至るまで幅広く所持していて、常に受信待機状態の携帯電話への情報配信は、安全、防犯に多大な貢献をもたらすものと考えます。この「犯罪情報発信システム」は、既に幾つかの地方自治体で取り入れられています。</p> <p>今私たちができることは、身の回りで起こった事件や災害の情報を共有することで、一人ひとりが適切に対策を立てて被害を未然に防ぐと同時に、地域住民が連携</p>	

することです。増加の一途をたどる犯罪に対する市民の防犯意識の向上、被害の拡大の抑制は、安心して住めるまちをつくるためには不可欠であり、官民一体となった地域主体の防犯活動が求められる時代になってきました。

将来的には、この配信システムを使って、迷子・徘徊老人などの目撃情報の提供を依頼するなど、市民がともに助け合える、活用されるコミュニティを構築していくための一助ともなることも期待しています。

東京都では、防犯・治安対策として、新たに3億円の補助金の予算を組んで、商店街や町会・自治会が防犯カメラを設置する際に補助するなど、地域支援に積極的に取り組んでいます。三鷹市でも地域の防犯活動への積極的な取り組み・支援をお願いし、下記の項目を要望します。

〔 請願事項 〕

- 1 安全に安心して住めるまちをつくるために、地域主体の防犯活動ネットワーク構築の支援をしてください。
- 2 市民の防犯意識向上、犯罪発生の未然防止、二次被害抑止のため、携帯電話のメールを使い、市内で起きた犯罪情報を発信するシステムの構築を積極的に推進してください。
- 3 将来的には、この配信システムを使って、迷子・徘徊老人などの目撃情報の提供を依頼するなど、市民がともに助け合える、活用されるコミュニティの構築を検証してください。
- 4 都の防犯カメラ設置補助といった、新しい地域防犯支援策など、国・都・市の防犯に対する地域支援策の積極的PRを行ってください。